

都立第五福竜丸展示館見学記

2020.01.19(日)



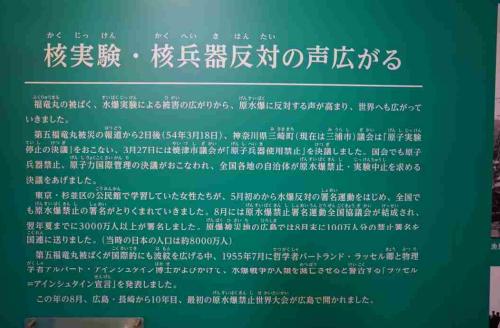
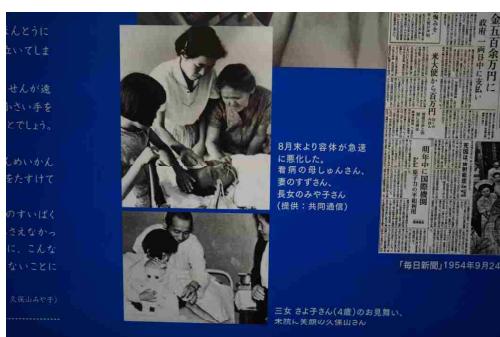
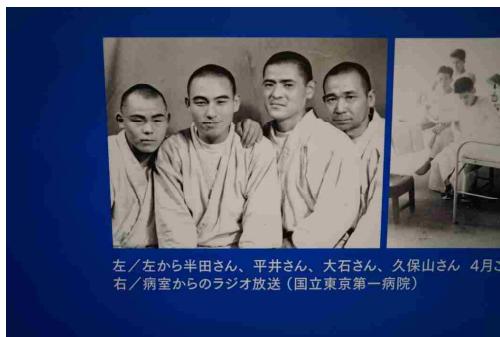
第五福竜丸展示館の魅力

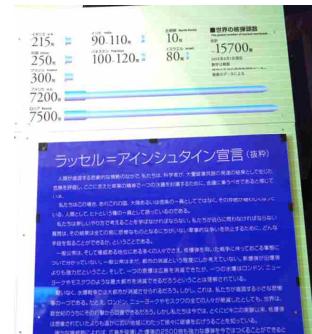
1. 被災した漁船をまるごと保存／展示
2. 第五福竜丸事件だけでなく、ビキニ事件と捉えて
核災害の歴史や核なき世界に向けての情報発信
全ての国の漁船の被災
太平洋の汚染
世界の核実験 1962年の核実験グラフは1階の天井に届く高さまで
核実験・核兵器反対運動 → ICANにつながる
3. 核に関する書籍販売／展示パネルの貸し出し

第五福竜丸は1947年に和歌山県古座町(現・串本町)でカツオ漁船第七事代丸として建造されました。全長約30メートル、高さ15メートル、幅6メートル、総トン数140トンの木造船です。第五福竜丸は戦後の食糧難の時代に遠洋漁業に従事した木造船としてきわめて貴重です。第五福竜丸は1954年3月1日、ビキニ環礁でアメリカがおこなった水爆実験により、乗組員23人は全員被ばくしました。静岡県焼津港所属の遠洋マグロ延縄漁船。

展示館の管理運営団体は、[公益財団法人第五福竜丸平和協会](#)です。
船体の管理、原水爆問題に関する展示・普及・教育・研究活動を行い、
1973年11月の開館から46年間、展示を見直し核廃絶のメッセージを
伝え続けています。

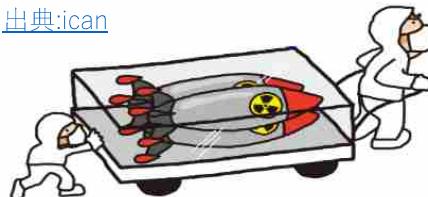






核兵器禁止条約 調印国 80, 批准国 35

[出典:ican](#)



ラッセル＝AINシュタイン宣言

1955年4月11日、哲学者バートランド・ラッセルと物理学者アルベルト・AINシュタイン二名が発表した核戦争絶滅の訴え。世界的な核廃絶運動の契機となった。

(引用)・・・われわれの前には、もしそれを選ぶなら、幸福、知識、知恵の不斷の進歩がある。争いを忘れることができないという理由で、われわれは死を選ぶのであろうか。われわれは人類として、人類に向かって訴える。あなた方の人間性を心にとどめ、他のことを忘れよ。もししそれができるなら、道は新しい楽園に向かって開けている。もしできないなら、あなた方の前には全面的な死の危険が横たわっている。

この訴えは世界的に大きな反響を呼び、1957年からは世界の科学者が核廃絶に向けて話し合う国際会議としてパグウォッシュ会議が開催され、世界的な核兵器廃絶運動の出発点となった。





「原水爆の被害者は私を最後にして欲しい」 久保山愛吉さんの願いが実現できていない世界の現状！